

まにわの子



真庭市キャラクター
まにぞう・まにぞうファミリー

令和8年6月11日第8号

真庭市教育委員会学校教育課

令和8年度 真庭市教育基本方針について

基本目標：一人ひとりの個性と能力を伸ばし、互いの生き方を応援し合えるまちをつくる

【問い】

いま、私たちの社会では、これまでにないほど効率化や合理化が進み、物質的な豊かさを享受できるようになっています。一方で、その便利さの中で、大切な何かが少しずつこぼれ落ちてはいないかと、改めて考えることも必要です。技術が進歩し、支援が充実し、暮らしが便利になる中で、子どもたちは本当に幸せを実感できているだろうか。

【大切に考える方（基本姿勢）】

子どもの権利を中心に：安心して遊び、挑戦し、失敗から学べる環境を大切にする

対話と自治：立場を越えて語り合い、納得を積み重ねる文化を育てる

あそび（余白）を重視：効率よりも手間や工夫、主体性を尊重

【基本方針（3つの柱）】



- ◆ 一人ひとりの可能性を広げる
誰もが安心して学び続けられる、生涯学習と多様性のある環境づくり
- ◆ 真庭を愛し、心豊かな人を育てる
郷育（地域を素材にした探究的学び）とライフキャリア教育の推進
- ◆ 教育を地域で支える
学校と地域の協働、家庭教育支援、図書館・公民館の充実

【令和8年度の重点（5つのエンジン）】

- ◆ 「やってみたい」を支える市民活動支援
- ◆ 学校・図書館を「共有財産」としての共創
- ◆ 誰一人取り残さない居心地のよい学校づくり
- ◆ 世代を越えて学び合うコミュニティカレッジ
- ◆ 高校魅力化による若者と大人の共創



教育委員会は、「管理者」としての役割にとどまるのではなく、市民と子どもの「やってみたい」に寄り添い、対話を土台とした文化を育てていきます。大人がいきいきと輝き、大人同士がつながり合い、その姿を見て育つ子どもたちが未来に希望を持てる真庭を、市民の皆さんの「持ち寄り」によって共に築いていきます。

●添付している「令和8年度真庭市教育基本方針」を一読ください。